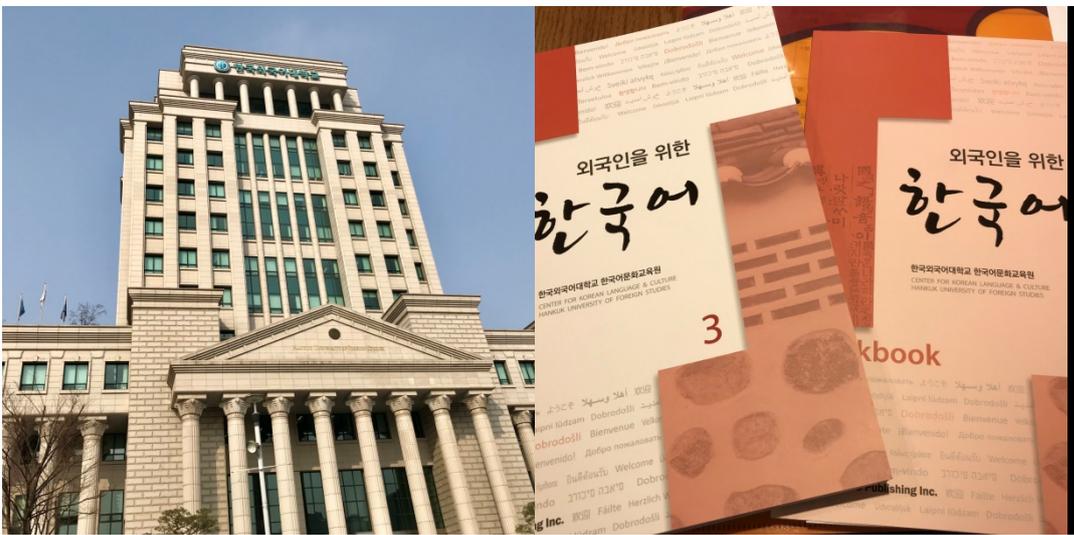


# 国際交流基金助成事業申請書

4年次生 城 葉月

## 1. はじめに

私は国際交流助成を受け、2月26日から3月28日の約1ヶ月間、韓国に留学しました。韓国への留学は私にとって2度目なので、1度目とは違い韓国語の勉強また韓国を知ることについて注力しようと考えました。



## 2. 滞在学校

私は現地で韓国外国語大学に通いました。外大ならではの多国籍な環境、またプログラム期間の長さに惹かれてこの学校を選びました。また学食が安くおいしいと有名だったので是非食べてみたいと思っていました。

プログラムにおける前回との違いはプレゼンや発表があったことでした。私はプレゼンなどにあまり慣れておらず簡単ではありませんでしたが、韓国にいる間に習った文法を使って日記を書くことを習慣としていた事から作文力が向上し、予想以上の高い評価を得ることが出来ました。

また、以前は言語交換制度や現地に親しい友達がいた為、現地の学生との交流に不自由ませんでした。しかし、今回の留学は異なる環境であった為自ら行動しなければいけないと考え、上達した韓国語を生かして情報を探し時間の許す限り大学の行事に参加したり、日韓交流会に行ったりしました。

### 3. 寄宿舎での生活

1ヶ月韓国にいる間、寄宿舎での生活をしていました。寄宿舎は学校から歩いて10分ほどの所にあり通いやすく、生活しやすかったです。問題なく生活できましたが、料理が禁止で毎日外食しなければいけないことが残念でした。



### 4. 休日

休日は郊外の都市に日帰りで行って来ました。大邱、全州、春川の3箇所に行きましたが、その中でも1番印象に残っているのは全州です。

全州はバスで3時間ほどかかり最も住みやすい都市のうちの1つとされています。

韓屋と呼ばれる韓国伝統家屋が700軒ほど集まっている村に全州韓屋村に行きました。韓国の伝統文化を見学できる施設も多数あり韓屋を眺めながら散策しました。実際に住んでいる人も見られ、生活と文化が共存していることを感じました。



## 5. 最後に

薬学部は海外留学をする事が難しいと思っていました。しかし私はこの4年間で2回も留学する事ができ、語学力はもちろんの事、自ら考え行動する力がついたと感じます。また、授業で韓国コスメの成分を薬事法の観点から調べ、発表する機会もあり、薬学部の学びと語学力はこれまで別分野だと思っていましたがこれが自分の知識となり活用できたことを嬉しく思います。